

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金

アナ： 「市長が語る 2023 三島」第4回の今日は、「自転車乗車用ヘルメット購入費補助金」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 本題に入る前に、今回のテーマは、自転車に関するものということですので、まずは、昨年策定された「三島市自転車活用推進計画」について伺いたいと思います。どのようなものなのでしょう。

市長： はい。この計画は、三島市における自転車の活用の方向性を示すとともに、市民、企業、団体の皆様や他の自治体などと連携して、自転車の活用に関する施策を戦略的・総合的に展開することで道路交通の安全性を高め、市民の皆様の健康の維持・増進、持続可能なまちづくりに向けた脱炭素化、観光振興による地域活性化を図ることを目的に策定したものでございます。

この計画に基づき、市民の皆様が、安全・安心に、また快適に自転車に乗ることができ、また三島に訪れた方なども含めて自転車に親しめるまちづくりを推進しているところでございます。

アナ： なるほど。

ところで、計画の中にヘルメットに関する項目はあるのでしょうか。

市長： はい。実施すべき施策として、ヘルメット着用の促進を掲げておられまして、ヘルメットの着用による事故発生時の死亡リスクの低減効果を提示し、着用のメリットと必要性を発信しています。

アナ： 計画には、すでにヘルメットの着用の促進も含まれているんですね。

そのような中、今回、新規事業として、自転車乗車用ヘルメットの購入に対する補助を開始するとお聞きしました。

どのようなきっかけがあったのでしょうか。

市長： はい。道路交通法が改正され、4月1日から、自転車に乗る全ての方の乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

そこで、市民の皆様の自転車利用時のヘルメット着用を後押ししたいと考え、購入費用の一部を補助することといたしました。

アナ： 法律の改正で、大人もヘルメットを着用しなければならなくなったんですね。

大きな変更ですが、万が一事故が起きてしまった際に、ヘルメットを着用していると被害の軽減が図れるということでしたね。

市長： その通りです。自転車事故で亡くなった方の致命傷となった箇所は、頭部が約7割を占めています。

ヘルメットは、転倒した場合などに頭部への衝撃を軽減する効果がありますので、自らの命を守るために、市民の皆様にはこの補助金を積極的に活用して

いただき、ヘルメットの着用に努めていただきたいと思います。

アナ： 気になる補助金の内容についてですが、対象となるのはどのような方でしょうか。

市長： はい。三島市内に住民登録があり、令和5年3月1日以降に、市内の店舗で自転車乗車用ヘルメットを購入した方が対象となります。

年齢による制限はございません。

アナ： 補助金額や申請方法はどのようになりますでしょうか。

市長： はい。補助金額は、乗車用ヘルメット購入費用の2分の1以内で、上限は2,000円です。

ですので、ヘルメットの購入金額が4,000円以上の場合の補助金額は、一律で2,000円となります。

また、申請方法についてですが、令和5年5月8日（月）から令和6年2月29日（木）まで、地域協働・安全課の窓口への提出、郵送、電子申請のいずれかの方法により申請書の受付をいたします。

なお、申請書につきましては、市のホームページからダウンロードすることができますし、地域協働・安全課の窓口でもお渡しできます。

アナ： 半額分の補助があることで、ヘルメット購入の良いきっかけになりますね。

私も、早速、この補助金を利用したヘルメットの購入を考えたいと思います。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。